

## 女性消防団があることを 知っていますか？



現在、20代から50代までの幅広い年代の十数人で筑前町の防災活動を行っています。おもな活動は、町民のみなさんへの防火の呼びかけや町内巡回、救急救命法の普及啓発など。その他に、消防団行事への参加や、地域の区民祭などでの消火器を使った消火実演などを行っています。

いろんな出会いの中に楽しさもあり、また防火や救急について学ぶことで自分自身の勉強にもなります。一緒に活動してくれる仲間を募集しています。毎月の定例会だけでものぞきに來ませんか？

### 女性消防団からのお願い

電話帳に記載されていない人、電話番号の変更をされた人、転居された人などは、消防署に電話番号をお知らせください。火災や救急の時、消防署に登録された電話番号を言うだけで、すぐにあなたの家がわかるようになります。お知らせいただいた電話番号は、他の目的に使用することはありません。

**連絡先** 甘木・朝倉消防署 通信指令係  
☎22-0119

**大規模地震を想定した  
総合防災訓練を実施**

昨年9月には、合併して初の試みとなる、震度5強の地震発生を想定した総合防災訓練を実施しました。自衛隊、消防署、警察署、会場となった南高田区など、各方面からの協力を得て大規模に実施しました。

そのなかで消防団は、住民のバケツリレーによる初期消火の指導、河川を土嚢でせき止める水利確保、家屋倒壊からの人命救助・搬送などの訓練を行いました。女性消防団は、応急救護、炊き出しによる被災者への食糧供給の訓練を行いました。この大規模訓練で、防災に対する意識がさらに強固なものとなりました。



**あなたにも  
できることがきっとある**

消防活動を通じて社会に貢献している消防団。その活動に興味があっても、どこまで参加できるかが分からなくて、二の足を踏んでいる人も多いのではないだろうか。すべての活動に参加できなくても、みなさん一人ひとりにできることはきっとあるはずです。

大切なのは地域の安心・安全を守りたいという気持ちです。18歳以上の町内に住んでいる人、働いている人で少しでも興味がある人は、役場まちづくり課☎42-6609までご連絡ください。体験入団も大歓迎です。一緒に活動しませんか？

### Interview

#### 筑前町消防団 第1分団 平田 優貴団員

初めは、見学を兼ねて手伝いということで入団しました。実際に入団して、いい意味でギャップがありました。同世代以外の人ともコミュニケーションがとれ、一緒に大会などに向けて頑張るのは、とても社会勉強になります。



### Interview

#### 筑前町消防団 第5分団 原口 博文副分団長

消防団に入ること、地域にも溶け込みやすくなると思います。実際に消防団に入ったことで友だちも増え、横のつながりができました。昔のようなイメージとは違った消防団で、一緒に活動しませんか。



### Interview

#### 筑前町消防団女性消防団 山本 梯子班長

初めは敬礼の仕方もわかりませんでした。消防の魅力は、いろんな年代層の人と触れ合えることだと思います。女性消防では、救急救命法などの普及啓発にも取り組んでいますが、自分自身の勉強にもなり、大変役に立っています。



### Interview

#### 筑前町消防団 杉谷 武浩団長

消防団は、何よりも第一に町民、町の安全・財産を守るため、生まれ育ったこの故郷に対する郷土愛の精神で活動しています。また、消防団同士の意思疎通をはかるために、レクリエーションなども実施し、団結力を強めています。



## 町と住民の命を守る消防団

どんな人たちが知っていますか？

二つの顔を持つ消防団員

消防団は、消防署とは違って、地域に住む一般住民の有志で構成される組織です。地域における消防防災のリーダーとして平時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安全と安心を守る重要な役割を担います。

消防団員は、普段は自営業や会社員など、それぞれの仕事を持ちながら、消火活動や防災活動にあたっています。つまり、消防団員は二つの顔を持つ特別な公務員なのです。

多岐にわたる消防団活動

消防団員は、火災発生時における消火、地震や風水害といった大規模な災害発生時の救助や救出、警戒監視、非難誘導などを行っています。

また、平時時には、火災発生時に備え、機械に異常がないかを点検するポンプ車の試運転、防火水槽などに水が入っているかを確認する水利点検、その他訓練、応急手当の普及指導、広報活動にも従事しています。

現在筑前町消防団には、18歳以上で町内に住む人、働いている人の315人が入団しています。

### 筑前町消防団管轄図

